

トピックスII

『新型インフルエンザ情報』

1. 香港特別行政区でのインフルエンザA/ H5N1患者発生 (福建省からの輸入患者)

- 1) IDWR Vol.5(7), p.11-11, 2003より：WHO/
CSR 2003年2月19日号抄訳

2月19日現在、香港特別行政区（以下香港と略す）で一人の子供からの検体が2カ所の研究室で検査され、トリ型インフルエンザウイルスが確認された。この患者からの2検体で行われた検査で、トリ型インフルエンザウイルスA/H5N1が同定された。1997年には香港で、類似したウイルスにより、18名の患者と6名の死亡者が発生した流行が起きている。

今回の流行では、母親と2名の姉妹とともに1月に中国の福建省に旅行した9歳の少年が2月9日に発症し、2月12日に香港の病院に入院した。少年は回復し、病状は安定している。患者の家族に同様の症状が認められ、少年の妹と父親が死亡した。少年の母親も発症したが、回復した。少年以外の家族もインフルエンザA/H5N1に感染していたかどうかは、まだ不明である。これらの疾患の原因を究明するために、医学的および疫学的調査が香港で実施されている。結果は数日で判明するであろう。その感染源を確定するための調査は遂行中である。

WHOは流行の調査において、香港と中国の保健当局と密接に協力している。WHO世界インフルエンザサーベイランスネットワークが警戒態勢を敷いた。

- 2) IDWR Vol.5(7), p.11-11, 2003より：WHO/CSR 2003年2月20日—更新、抄訳

2月20日現在、香港特別行政区（以下香港と略す）の衛生署は、2月17日に香港の病院で死亡した33歳男性が、インフルエンザウイルスA/H5N1に感染していたことを確認した（既報参照）。男性から採取された鼻咽頭吸引検体が香港衛生署ウイルス部で検査され、インフルエンザウイルスA/H5N1陽性であった。

この男性は、今回の香港での流行でインフルエンザウイルスA/H5N1が確認された2例目の患者である。この男性は、昨日検査でインフルエンザウイルスA/H5N1陽性が判明した9歳男児の父親である。両名とも1月に中国福建省へ旅行した。福建省に旅行したこの家族の他の2名も体調を崩している。9歳男児の母親は現在完全に回復し、8歳の妹は福建省で2月4日に死亡した。

香港衛生署は流行の感染源を明らかにするため、検査と疫学調査を継続している。また、遺伝子型などの詳細な検査が行われている。香港衛生署によると、過去数週間にインフルエンザの活動性の異常な上昇は検出されていない。

WHOは、北京と香港の衛生署と密接な連絡を取っている。WHO世界インフルエンザサーベイランスネットワークは警戒態勢を取っており、同ネットワーク加盟の各国インフルエンザ

センターや他のメンバーに対し、検査診断に必要な追加試薬を用意している。